

平成22年3月発行

### 「下水道フォーラム in たかまつ」に参加して

第1期 狩野美紀子

平成21年10月28日（水）、高松市サンポートホール高松で「下水道フォーラム in たかまつ」が開催され、北島さんと私が参加させていただきました。

フォーラムのパネルディスカッションのテーマは「かの川をみんなの力でとりもどそう」で、かの川とは昔のあの清流のことで、香川県の水辺を考える会代表と奥谷天神会ほたる部会長が事例発表されました。行政からは、国交省と高松市長が行政の立場で、いかに市民に理解してもらえるかなどを話され、イベントなどを通してPRしていくことが大切だと思いました。

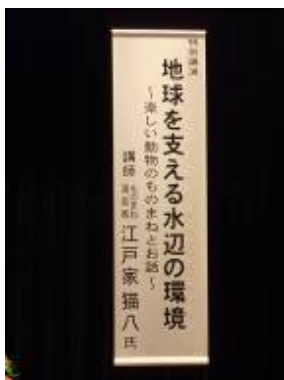


上流は「かの川」



赤谷川のホタル

また、講演会では、動物のものまねで有名な江戸家猫八さんが、生きものをかわいがることや日頃鳴き声をよく聞いていないともものまねも出来ない、とユーモアたっぷりに講演されました。



楽しい動物のものまねとお話

施設見学は、10時から12時まで東部下水処理場と屋島へ案内していただき、学習と観光を短時間でしたが楽しみもありよかったです。

## 「高松の下水道フォーラムに参加して」・・・

第4期 北島照子

昨年、高松の下水道フォーラムに行かせていただきました。

高松駅へ降りた時、広島とは全く違う駅前の設備に驚きました。改札口からバス乗り場などは全部バリアフリーになっていました。広場には、小川と池があり、もちろん雨水再利用でした。駅前が整備されていると印象が変わりますね。



高松駅前バスターミナル (Wikipedia より)

フォーラムのパネリストによる意見交換の中で、どの都市でも川の汚染には頭を痛めているようでした。

一人ひとりの意識の中で未来はこんな川になったら良いかと創造しつつ取り組んでいけたらよいと思いました。



パネルディスカッション

コーディネーター  
高松市水環境会議委員  
栗原秀人

パネラー  
高松市長 大西秀人  
香川県土木部下水道課長  
奥谷天神会ホテル部会会長  
香川の水辺を考える会代表  
特別講演講師 江戸屋猫八

私は、この1月、千葉県で開催された全国児童委員研究協議会に参加する機会をいただきました。広島から4人、全国から300人の参加があり、1泊2日の研修会で、夜は交流会があるというスケジュールだったので、ぜひ、その折に広島のアピールをしたいと思いました。



そして思いついたのが、下水道サポーターで作製された六角絵でした。カープ坊や・平和公園の鶴・港のカモメのマンホールの図柄が、まるで手品のように出てくる六角絵。カラーもとてもきれいで、各イベントで既に好評を得ていました。早速、あつかましくも「ください！」とお願いをしました。快く、提供していただき感謝・感激でした。



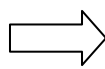
そして当日、交流会も佳境に入った頃を見計らい、まず自分のテーブルの9人に配布。山折、谷折を説明、糊は私がつけて回りました。皆、思った以上に上手に仕上げる事が出来、驚きと笑顔があふれました。気を良くした私は、来賓の席に行き配布。「広島、広島」と連呼しながら作り方の説明をしました。皆さん積極的に質問され、熱心に作られました。酔いも入った手は、難しそうに動かされながらも完成。目を真丸くしての驚きと笑顔。

こうして日頃の下水道のサポーターとしての活動が思わぬ広島のPRにつながり、喜びもひとしおでした。これからも機会あれば下水道の広報をして行きたいと思っています。

六角絵の作り方



六角絵の用紙（表・裏）



用紙を山折、谷折に折り曲げたところ  
両端を糊づけして完成



不思議なことに、一つの六角絵から三つの図柄が入れ替わり出てくる  
左から広島市のデザインマンホールの図柄である「カープぼうや（マツダスタジアム周辺）」、「折鶴（広島駅周辺）」、「かもめ（広島港周辺）」



## 千田水資源再生センター汚泥処理施設と新千田ポンプ場施設見学について

事務局

下水道サポーター協議会の勉強会の一環として施設見学を行いましたので報告します。

日 時 平成 22 年 11 月 17 日（火） 13:30～15:00

場 所 千田水資源再生センター

内 容 汚泥処理のしくみの説明（濃縮槽、脱水機、焼却炉）

新千田ポンプ場の概要説明

施設見学（汚泥処理施設、新千田ポンプ場、建設中の雨水滞水池）

参加者 22 名

### 概要

千田水資源再生センターはほとんどの方が見学されていると思いますが、汚泥処理施設は安全上公開したことがありませんでした。このたび、遠巻きながら見学を行いました。

また、新千田ポンプ場は平成 21 年 4 月から稼動しており、完成後、初めて見学される方も多かったかと思えます。

まず、汚泥処理のしくみについて説明を受け、現地では濃縮槽、脱水機、焼却炉の順に見て回りました。

新千田ポンプ場については、概要説明の後、エレベーターで地下に降り、巨大なポンプやそれを回転させるエンジンなどを見ました。また、新千田ポンプ場の屋上から、増設中の雨水滞水池を見ました。



汚泥濃縮槽



汚泥脱水機



汚泥焼却炉



新千田ポンプ場（地下）

## 下水道サポーターの活動

事務局

平成 21 年度も、下水道サポーターの皆様には様々な下水道イベントに参加していただき、市民の皆さんの下水道に対する理解を促進する活動をしていただきました。その活動状況をまとめ報告します。（なお、この内容とほぼ同じものを広島市下水道局のホームページに掲載していますのでそちらもご覧ください。）

### ● 下水道サポーター制度とは

計 4 回の下水道の勉強会や施設見学会により下水道に関する理解を深め、市民の皆さんの視点から下水道に対する意見や提案をしていただき、市民の皆さんの下水道に対する理解を促進する活動を行っていただくために、「下水道サポーター制度」を平成 15 年から行っています。

平成 21 年度、第 15 期までの下水道サポーターは 210 名です。

### ● 下水道サポーター協議会とは

また、平成 18 年 9 月に、下水道サポーターが活動するための組織として「広島市下水道サポーター協議会」を設立しました。この協議会は市と協働し、市民の方が下水道の役割や事業効果について理解を深め、下水道を正しく使いことを促進するための広報活動を行うものです。

下水道サポーターの中から、市と協働で活動していただける方に、この協議会へ登録していただいています。平成 21 年度、第 15 期までの協議会の登録者は 92 名です。

## 1 打ち水大作戦 2009 ひろしま

平成 21 年 7 月中旬から 8 月末に市内 9 会場で「打ち水大作戦 2009 ひろしま」を行い、下水道サポーターの皆様が延べ 49 名（実数 39 名）参加し、バケツ、ひしゃく等の準備、スーパーボールすくいなどを行いました。13 会場での実施予定でしたが、残念ながら雨のため 4 会場が中止になりました。



己斐会場



マツダスタジアム会場

## 2 下水道ふれあいフェア

平成 21 年 9 月 13 日（日）に西部水資源再生センターで「下水道ふれあいフェア」を行い、下水道サポーターの皆様が 22 名参加し、スーパーボールすくい、ふうせん釣り、工作コーナー（六角絵）、スタンプラリー、来場者プレゼントなどを実施しました。

特に六角絵コーナーは児童を対象にした下水道サポーター協議会独自の出展ブースでした。



工作コーナー（六角絵）



ふうせん釣り

### 3 下水道出前講座

平成 21 年度は、市内の小学校 57 校に下水道出前講座を行い、下水道サポーターの皆様が延べ 79 名（実数 48 名）参加し、顕微鏡観察の準備や講師の補助をしました。

サポーター協議会登録者の半数以上が参加したことになります。



下水道の説明



顕微鏡観察

### 4 施設見学会

平成 21 年 11 月 17 日に千田水資源再生センターの汚泥処理施設と新千田ポンプ場の施設見学を行いました。参加者は 22 名でした。（詳細は前出）

おわりに

年々下水道サポーターの数が増え、イベントも充実してきていますが、当初の目的を忘れずいろいろご意見をお聞きしながら改善し、よりよい活動を展開して行きたいと思えます。今後ともご協力をお願いします。